

大久保 規子

法学研究科・教授

【研究】

「環境法の参加原則に係る評価指標の検討-環境民主主義の確立に向けた国際連携構築」(科研S)の最終年を研究代表として推進し、9月にアジア7カ国が参加するとりまとめの国際シンポジウムを主催し、世界社会科学フォーラムではセッションを企画・開催し、その成果を行政法研究特集号としてとりまとめたほか、英語の査読論文を含む論文として公表した。また、インドネシアの森林管理と先住民の参加に関する科研Aおよび環境政策史に関する科研Bの研究分担者として共同研究に参加した。

【教育】

法学部では、複数の行政法の講義科目のほか、ゼミの授業時間外の活動にも力を入れ、アマミノクロウサギ訴訟に関する自主研究も指導した。また、法学研究科では、大学院生を各種研究プロジェクトに参加できるように配慮し、上海への研究会に参加するなどの機会を与えた。

【管理運営】

全学では、とくにSSIについて、基幹プロジェクトの実施、運営へのコミットメントを行った。

【社会貢献】

中央環境審議会委員、大阪府公害審査会委員等、国及び自治体の審議会等で、新たな施策の立案、適正な紛争処理に等に努め、司法試験考査委員としての職務を果たした。また、環境法政策学会の理事等として学会の運営に参加するとともに、日本学術会議連携会員として各種事業に従事した。さらに、公開の研究会を開催し、日弁連や各種NGO等が主催する講演会等において、研究成果の社会還元に努めた。